

児童相談所音声マイニングシステムのパイロット導入及び保守業務委託 企画提案募集要領

(目的)

第1条 児童相談所の電話対応時の音声に関して、リアルタイムに文字起こしを可能とする音声マイニングシステムと関連機器の調達及び保守業務委託のため、「児童相談所音声マイニングシステムのパイロット導入及び保守業務委託」募集要項により業者を選定するものである。

選定に当たっては優れた提案を広く募集して最優秀のものを選定する公募型プロポーザル方式（以下、「プロポーザル」という。）により実施するため、提案の選定方法について必要な事項を定める。

(提案者の参加方法)

第2条 プロポーザルに参加する者は、本要領及び別に定める「児童相談所音声マイニングシステムのパイロット導入及び保守業務委託」募集要項に基づき、手続きをとるものとする。

(提案者の選定方法)

第3条 別に定める「児童相談所音声マイニングシステムのパイロット導入及び保守業務委託」受託者選定委員会（以下「委員会」という。）は、提案参加者から提出された企画提案書の書面審査及びヒアリングを行い、最も優れた提案者を委託業者として選定する。

(審査対象事項)

第4条 選定に係る審査対象事項は、以下の各号により行う。

- (1) 企画提案及び機能要件
- (2) 運用支援及び保守体制
- (3) 所要経費

(審査方法)

第5条 第3条で規定する審査は、【別紙】で定める基準により行う。

(その他)

第6条 本要領で定めるもののほか、プロポーザル実施に係る必要な事項は、千葉県が定める。

附 則

この要領は、令和6年7月8日から施行する。

【別紙】

児童相談所音声マイニングシステムのパイロット導入及び保守業務委託
提案書の審査に係る採点表

委員名	採点日	集計確認者
	令和6年 月 日	

提案者：	採点合計	点／100点満点
------	------	----------

※採点合計は事務局で記載します。

1 採点表

審査項目	No.	審査基準	評価点	重要係数	最高得点	採点
企画提案 及び 機能要件	1	本業務の趣旨を十分に理解しており、仕様書に沿った実施方針が設定されているか	5・4・3・2・1	2	10	
	2	(1)仕様書に定める機能を有しているほか、使いやすさ、見やすさに十分配慮されているか。	5・4・3・2・1	3	15	
		～音声認識精度について～				
		(2)システムによりテキスト化された文章を読んで、内容を理解することができるか。	5・4・3・2・1	3	15	
		(3)単語誤り率、頑健性、その他加点要素 ※1※2	5・4・3・2・1	3	15	
	3	システムの柔軟性、拡張性はどうか。 (生成AIの組み込みによる認識結果の要約、既存システムとのデータ連携等)	5・4・3・2・1	2	10	
導入支援 及び 業務遂行 能力	4	導入評価項目の設定と、導入評価の測定方法について、十分なものとなっているか。	5・4・3・2・1	3	15	
	5	業務実施体制について、提案システムの構築・運用・保守に携わった実績やITスキル等を十分に備えているか。	5・4・3・2・1	2	10	
所要 経費	6	経費の算定根拠が明確に示されているか。また、提案内容の経費は妥当か。	5・4・3・2・1	2	10	
合 計						

2 評価方法

- (1) 審査基準ごとに優秀なものを高い点とする5段階評価を行い、それらの評価と係数を掛けて採点欄に記入する。配点は各審査基準5点とし、合計100点満点とする。
- (2) 提案者ごとに点数を合計し、委員の平均点数が55点以上かつ最上位（合計点数が最も高い）に順位付けした委員の数が最も多い提案者を選定する。
- (3) 前記で最上位に順位付けした委員の数が同数の場合は、全委員の合計点数が最も高い事業者を選定する。
- (4) 前記で全委員の合計点数が同数の場合は、所要経費の最も低い事業者を選定する。
- (5) 前記で所要経費が同額の場合は、選定委員会の審議により事業者を選定する。
- (6) 採点表No. 2(2)について、事前に測定した各提案者の音声認識結果を同時に閲覧、確認し、採点する。
- (7) 採点表No. 2(3)について、委員による協議のうえ、各委員統一の採点とする。

※1 単語誤り率 = 【挿入単語数 + 置換単語数 + 削除単語数】 ÷ 正解文単語数

例：

正解文	兎相 から 県 庁舎 に 向かう (単語数：6)
認識結果	自走 から 県 と 調査 に 向かう
挿入単語数(A)	1 (「と」)
置換単語数(B)	1 (庁舎→調査)
削除単語数(C)	0

単語誤り率 = 【A(1) + B(1) + C(0)】 ÷ 正解文単語数(6) = 33%

※2 話者の声質、話し方、環境ノイズなどに対し、チューニング等によるシステムの最適化や辞書登録による頑健性の向上又は認識精度の向上の余地などのほか、「えー」、「んー」等、記録上不要となるフィラーフレーズの削除等、加点要素について採点を行う。